

令和3年度

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告及び附属明細書

令和3年度は、すべての人々が地域で暮らし、生きがいを共に創り高め合う地域共生社会の実現を目指して取り組みを進めました。また、コロナ禍においても持続可能で質の高い福祉・介護サービスの提供や新たな地域福祉のあり方を模索し取り組みを進めました。

しかしながら、いまだ新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ感染症」）の終息が見えない中、社会的孤立の拡大は、生活課題をさらに深刻化させるとともに、地域での支え合い活動や交流活動にも大きな影響を及ぼしています。さらには、一部の地域福祉事業の内容変更や、複数の介護事業所でコロナ感染症の影響による営業休止の対応など、厳しい状況が続きました。

地域福祉の推進については、地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念である「地域の絆で ともに育み支えあい 安心して暮らせるまち 長浜」を掲げ、地域共生社会の実現に向けての中核事業である重層的支援体制整備事業を市との協働により推進するとともに、コロナ感染症の影響を受け深刻化する困窮世帯への生活相談並びに生活福祉資金貸付を実施し、本市のセーフティネット機能の一翼となるべく取り組みを進めました。また、市内で困窮世帯を支援するフードバンク活動団体等と連携し、制度のはざまや公的支援が届きにくい世帯への援助活動にも積極的に取り組みを進めました。

介護事業の推進については、訪問介護事業での新たな管理システムの導入と居宅介護支援事業での個別端末（タブレット）の導入等によるDX（デジタルトランスフォーメーション）化を図り、業務効率の向上とペーパーレス化を進めることで収益性及びサービスの質の向上を図りました。さらに、伊香の里においては、利用定員を特別養護老人ホーム事業58床（50床→58床）、短期入所生活介護12床（20床→12床）に変更し、利用者ニーズに応じた即応性の高い運営に努め、収益性の安定を目指しました。

また、コロナ感染症の影響を最小限に抑えるべく、徹底したコロナ感染症対策を講じるとともに、感染者が発生した場合においても、県および関係機関と連携し速やかな対応に努め、施設内や職員間でのクラスター感染など発生させることなく事業運営を図ることができました。

令和3年度の決算状況については資金収支計算および事業活動収支計算ともに黒字となりましたが、依然として、経営の安定化に向けた方策についての検討が必要となっています。また、法令遵守の徹底や大規模災害を想定したリスクマネジメント能力の向上とともに、働き方改革への的確な対応や人材確保と育成・定着化に努める等、市民の信頼と公益的な使命に応えるため、経営基盤の更なる強化を図ります。

1. 地域福祉の推進

令和3年度は、第2期地域福祉活動計画推進期間3年目として『地域の絆で ともに育み支えあい 安心して暮らせるまち 長浜』を基本理念に7つの基本方針をもとに、地域住民と連携し「新しい生活基準」に則した活動企画を進め、情勢に応じた地域福祉活動の取り組みを進めました。

特に、改正社会福祉法にもとづく「重層的支援体制整備事業」の取り組みにおいては、これまでの実践を活かし、全国的にもいち早く取り組みをはじめ、生活圏域の住民福祉活動を推進する地区社協・福祉の会が中心となり、暮らしの支えあい検討会等を全地区において開催し、地域福祉課題の把握と情報の共有、その課題の解決に向けた具体的な取り組みの検討および活動の実践を展開しました。

また、多機関の協働による、包括的相談支援体制の構築に向けた取り組みについては、行政と連携し、社会的孤立、生活困窮にある人たちの支援体制のネットワーク構築のほか、いわゆる「制度のはざま」といわれる課題の解決に向けた調査や活動支援に努めました。

権利擁護支援については、「長浜市成年後見制度利用促進基本計画」をもとに、長浜市成年後見・権利擁護センターを中核機関と位置付け、権利擁護支援が必要な人の早期発見や相談・支援体制の整備、意思決定支援を重視した成年後見制度の活用、後見人支援などの充実に向け、関係者協議会や地域連携ネットワーク会議などの支援体制を構築し、「一人ひとりの意思や権利が尊重され自分らしく安心して暮らせる共生のまち」の実現に向け、地域の権利擁護支援を進めてまいりました。

(1) 福祉活動支援事業

① 地域福祉推進事業（地域福祉活動計画の推進と地区別福祉活動計画の推進支援）

地域福祉活動計画の進捗管理を行うため、地域住民、福祉関係機関、行政等との連携により長浜市地域福祉活動計画推進委員会を設置し、地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業の推進を図りました。また、地域住民や関係団体、社協、介護事業所、行政等が連携・協働し、各地区の地域福祉推進に向けた支援と取り組みの方向性を話し合う場として福祉懇談会（地域ケア会議）を開催し、市内全地区において地域実情に応じた地域福祉を推進するための第2期地区別地域福祉活動計画の推進に向けた取り組みを進めました。

○地区別地域福祉活動計画の推進支援 15 地区

○長浜市地域福祉活動計画推進委員会の開催

■長浜市地域福祉活動計画推進委員会

開催日	内 容
R3.7.12（月）	第16回地域福祉活動計画推進委員会
R4.2.17（木）	第17回地域福祉活動計画推進委員会

■長浜市地域福祉活動計画推進アドバイザーとの協議

開催日	内 容
R3.6.2（水）	第2期長浜市地域福祉活動計画の進捗管理について
R3.7.8（木）	第16回長浜市地域福祉活動計画推進委員会について
R4.2.15（火）	第17回長浜市地域福祉活動計画推進委員会について

② 地区社協支援事業

地域の実情に応じた福祉活動を推進する基盤福祉団体である地区社協との連携のもと各地域の福祉活動・交流活動を進めることを目的として地区社協への支援を実施しました。

○支援地区社協数 15 地区

- 地区社協活動推進事業補助金 15 地区 定額 200,000 円 会費納入世帯×150 円
- 地区社協事務局運営補助金 6 地区 定額 100,000 円 会費納入世帯×50 円
- 代表者会議・研修会の実施

開催日	内 容
R3.6.10 (木)	長浜市社会福祉協議会の動きについて 各地区社協の取り組み紹介、意見・情報交換
R3.12.23 (木)	神照地区の取り組み紹介 各地区社協の取り組み紹介、意見・情報交換

③ 福祉委員支援事業

地域における福祉課題への解決に向けた取り組みや地域交流を深めることを目的に設置された福祉委員を支援し、地域実情に応じたきめ細やかな小地域福祉活動がそれぞれの地域で実践されることを目的として支援を行いました。

○地域福祉塾の開催：3回

■開催日：令和3年8月11日(水)

◆参加者数：16名

◆内 容：「地域福祉型社会福祉へ 地域福祉の二つの側面」

◆講 師：大谷大学名誉教授 山下 憲昭さん

■開催日：令和3年10月13日(水)

◆参加者数：16名

◆内 容：「市民・住民の参加と協力があってこそその福祉のまちづくり」

◆講 師：大谷大学名誉教授 山下 憲昭さん

■開催日：令和3年11月10日(水)

◆参加者数：16名

◆内 容：「市民・住民生活の将来像を考える」

◆講 師：大谷大学名誉教授 山下 憲昭さん

○地区別福祉委員研修会の開催・支援

■開催回数：3回(南郷里地区、神照地区、余呉地区)

■参加者数：148名

○福祉委員活動や支援に関わる出前講座

■開催回数：13回(6自治会)

◆参加者数：93名

④ 地域見守り活動推進事業

日ごろの支えあいの積み重ねによる、いざという時の迅速な対応や、安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の支えあいを基本とした見守りや声かけをはじめとするふれあい活動に加え、自治会等の災害時要援護者支援対策「地域支え合いづくり促進事業」と連携を図った、防災・減災活動、避難支援体制整備(防災福祉マップ作製など)を推進しました。

○相談支援、取り組み支援地区および自治会数

■1地区(湖北地区)

■11自治会(三川自治会、北布施自治会、安養寺自治会、八木浜自治会、御館自治会、益田自治会、祇園元自治会、上丹生自治会、菅並自治会、八日市自治会、四ツ塚自治会)

○啓発活動・研修会等の開催

■5 地区（西黒田地区、西浅井地区、虎姫地区、六荘地区、木之本地区）

■10 回（常喜新自治会、本庄新自治会、本庄自治会、常喜西・東自治会、木之本自治会、大浜自治会、八条自治会、東高田自治会、第2連合自治会、千田自治会）

■参加者数：113 名

○見守り活動啓発資材の配布

■啓発資材配布自治会・地区数：9 自治会 6 地区社協

■配布啓発資材数

◆命のボタン（マグネットケース付き）：165 個

⑤ ふれあい電話事業

登録されたひとり暮らし高齢者等の方々に対し、ボランティアの協力のもと電話による友愛活動を実施しました。民生委員・児童委員や各福祉関係機関との連携のもと安否確認・生活相談を行うことで、社会的孤立感の解消や日常生活上の課題解決に向けた取り組みを行いました。

また、協力ボランティアを対象とした研修会と交流会を開催し、相談の質の向上に努めるとともに、ボランティア同士のつながりづくりを進めました。

○実施内容 安否確認や福祉ニーズの把握（悩み、不安、健康状態、福祉サービス等）
のための電話による友愛活動

○実施日時 毎週水・木曜日 午前 10 時～午前 11 時 50 分 計 85 日間

○通話者 ボランティア団体、民生委員・児童委員協議会 計 13 団体
個人ボランティア 7 名

○対話者 79 名（R4.3.31 現在）

○通話件数 延べ 1,667 件

○個別対応 利用者からの相談に対し、専門相談または関係機関等への連絡
延べ 39 件

○研修会

■開催日：令和3年12月1日（水）

◆内容：「ふれあい電話利用者への年賀状作り」～スタンプを使った簡単年賀状作り～

◆講師：重信 瞳さん（消しゴムはんこ作家）

◆参加者：28 名

⑥ 小地域サロン支援事業

地域のボランティアが主体となり、高齢者やしょうがい者など地域での交流機会が希薄になりがちな要援護者等を中心として、地域住民がともにふれあえるサロン活動の支援を行いました。サロン活動の充実を目的に、サロンで使えるレクリエーション講座を開催しました。また、サロン支援員を配置し、運営ノウハウ、レクリエーションの提供などの活動支援に取り組みました。

○助成金支援団体数：195 団体

（実施期間 1 年～3 年：30,000 円 3 年以降：10,000 円）

○新規助成金支援団体数：3 団体

○サロン交流・研修会の開催

サロン交流会（第1回）

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
R3.7.13(火)	長浜伊香ツインアリーナ	チャレンジスポーツ講座 スポーツを活用したレクリエーション講座	29名
R3.7.13(火)	高月まちづくりセンター		22名
R3.7.15(木)	長浜まちづくりセンター		36名
R3.7.20(火)	南郷里まちづくりセンター		17名
R3.7.27(火)	神照まちづくりセンター		26名
R3.7.29(木)	湖北福祉ステーション		29名

サロン交流会（第2回）

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
R4.2.15(火)	湖北福祉ステーション	心も体も元気に！サロン応援講演会 講師：栗木 剛さん (mottoひょうご)	37名
R4.2.15(火)	木之本スティックホール		35名
R4.2.16(水)	神照まちづくりセンター		31名
R4.2.16(水)	長浜まちづくりセンター		34名

研修会（第1回）

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
R3.11.15(月)	長浜まちづくりセンター	はじめてのスマホ講習会	6名
R3.12.3(火)	高月福祉ステーション	主に高齢者を対象としたスマホ初心者向け講座	14名

研修会（第2回）

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
R3.12.1(水)	長浜まちづくりセンター	オンラインきゃんせ大会	5名
R3.12.22(水)	長浜まちづくりセンター	Zoomを使用したオンラインの体操講座	10名

研修会（第3回）

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
R3.12.5(日)	兀ヱヲ 平和堂（午前）	オープンサロン「ボッチャ体験会」 誰でも参加可能なボッチャ（ニュースポーツ）の体験会	21名
R3.12.5(日)	兀ヱヲ 平和堂（午後）		17名

○小地域サロン交流会：12地区 14回 延べ参加者310名

○レクリエーション支援（一時支援）：100団体

○サロン立ち上げ支援（継続支援）：13団体

○サロン情報紙の発行：年6回

⑦ 広報・啓発活動

地域の福祉活動や本会の取り組み、福祉関係の情報を提供する広報紙、ボランティア活動者・サロン運営者向けの情報紙を発行することで、福祉に対する意識向上、地域福祉活動への参加促進、そして活動者、当事者の交流のきっかけづくりを行いました。また、併せて本会活動に対する理解の向上に努めました。

ホームページ、Facebook ページを運営し、手軽に情報を受け取っていただけるよう記事の更新に努めました。

○広報紙の発行

■社協ながはま

◆発行回数：年4回（6月・9月・12月・3月号）

◆発行部数：42,000部/回

■ボランティア情報誌「えくすてんど」

◆発行回数：年12回

◆配布方法：各まちづくりセンター配布

◆発行部数：約310部/回 ※6月・9月・12月・3月号は社協ながはまに掲載

■ボランティアセンターだより「ランティちゃん はーい」

◆発行回数：年3回（4月・2月・3月号）

◆発行部数：約400部/回

■サロン情報紙

◆発行回数：年6回

◆発行部数：約300部/回

○ホームページの運営（アドレス<http://www.nagahama-shakyo.or.jp/>）

○Facebook ページの運営（アドレス<https://www.facebook.com/nagashakyou/>）

○広報紙「社協ながはま」広告企業の募集

⑧ 福祉団体助成事業

市内で活動する福祉団体に対して活動費の助成を行い、福祉団体の育成・活動の促進に努めました。

○助成団体数：10 団体

○支援事業数：11 事業

- 長浜市民生委員・児童委員協議会
- 長浜市手をつなぐ育成会
- 長浜市老人クラブ連合会
- 長浜市母子福祉のぞみ会
- 滋賀県私立保育園連盟湖北ブロック
- 長浜市視覚障害者協会
- 長浜地区更生保護女性会
- 長浜市特別支援教育研究部会
- フードバンクながはま

- 長浜市民児協運営事業
- 知的しょうがい児者交流事業→マスク配布
- グラウンドゴルフスポーツ大会
- コロナ禍における母子家庭への支援
- 滋賀県私立保育園絵画展（湖北ブロック）
- 講演会・ポッチャ体験・ITサロン
- ミニ一般公開ケース検討会（ミニ集会）
- 長浜市小中学校特別支援学級合同学習発表会
- フードバンク事業

⑨ 歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として地域住民や民生委員・児童委員、福祉関係機関、団体等の協力のもと新たな年を迎える時期に、誰もが地域で安心して暮らし、地域のたすけあいや支えあいの活動を広げることが目的として取り組みを推進しました。

事業名	支援対象者・団体数・参加者数など
緊急食料給付事業	生活困窮者向け食料品の購入及び給付
特別支援学級等学用品助成事業	特別支援学級生徒等 276 名
要保護世帯図書カード支援事業	要保護世帯児童生徒 34 名
一人暮らし高齢者等歳末掃除支援事業	80 歳以上の一人暮らし高齢者世帯等 181 件
歳末おせち料理配食事業	80 歳以上の一人暮らし高齢者世帯等 1,006 件
歳末行事支援事業	市内の福祉施設・福祉団体 17 団体
福祉対象者交流会（サンタクロース慰問事業）	長浜市内小児病棟入院患者 23 名

⑩ しょうがい者等交流事業

○しょうがい児者保護者交流事業（ほのぼのかけはし）

長浜養護学校及び市内小中学校特別支援学級、療育支援センターに通学等するしょうがい児・生徒の保護者等を対象に、しょうがいについての理解を深め、気軽に相談し交流できる仲間（ネットワーク）づくりを目的に研修会“ほのぼのかけはし～みんなひとりじゃないんだよ～”を開催しました。

開催日	内容	講師	参加者数
R3.7.9(金)	情報交換会 「かけはしカフェ～進路について」	◇佐藤 明子さん (元特別支援学校教諭) ◇中野 弘美さん (当事者保護者)	10名
R3.9.16(木)	ワークショップ 「パペット人形の制作体験」	◇田口 京子さん (当事者保護者) ◇佐藤 明子さん ◇中野 弘美さん	中止
R3.10.15(金)	「いざという時のために！～防災について学びましょう～」	◇安原 秀男さん (防災危機管理局) ◇佐藤 明子さん ◇中野 弘美さん	9名
R3.11.11(水)	職場見学	◇佐藤 明子さん ◇中野 弘美さん	6名
R3.11.25(木)	情報交換会 「かけはしカフェ」	◇佐藤 明子さん ◇中野 弘美さん	10名

※開催場所：高月福祉ステーション

○一般就労者交流支援事業（元気クラブ）

一般就労する知的しょうがい者の余暇活動支援および仲間づくりを目的とした交流事業を湖北地域しょうがい者相談センター「はたらき・くらし応援センターこほく」との共催で開催しました。

開催内容および参加者数等	開催回数	延べ参加者数
事務（企画）会議	5回	88名
スポーツ体験（バドミントン・バレー・ポリング・卓球）	3回	38名
外出・社会見学（日帰り旅行）	4回	80名
クラフト体験	1回	20名

○しょうがいへの理解促進

地域の福祉活動者を対象に、しょうがいへの理解を広げるための研修会を実施しました。
実施団体・地区数：5地区

⑪ 子育て支援事業

1) おもちゃ図書館事業

未就園の幼児と保護者を対象に、様々なおもちゃでの遊びや簡単な工作をとおして、子どもの豊かな発想と発育を支援するとともに親子のふれあいや保護者同士、地域のボランティアとの交流を促進し、子育て環境の充実を目的に実施しました。

虎姫会場では虎姫福祉の会「は～とらんど」と協働で事業展開し、木之本会場では地域ボランティアや活動グループ協力のもと、地域ぐるみの子育て支援を推進しました。長浜市子育て支援セン

ターとの共催企画も実施し（各会場2回）、内容の充実と幅広い周知活動に努めました。

○虎姫会場 毎月第2・3水曜日 10:00～11:30

○木之本会場 毎週火曜日 10:00～11:30

開催場所	開催回数	延べ参加者数	延べボランティア活動者数
虎姫会場	21回	204名	39名
木之本会場	45回	148名	41名

※虎姫会場は9月（全日）、木之本会場は8月31日・9月（全日）コロナウイルス感染予防のため中止

2) 冒険遊び場づくり活動支援事業

子どもの外遊びをとおした居場所づくりを目的とした「冒険遊び場」を開催しました。また、冒険遊び場の活動に関心のある団体・個人への相談・開設支援を行いました。

○冒険遊び場の実施 毎月第3土曜日 10:00～15:00

■開催場所：浅井ふくらの森

■開催回数：10回 ※8、9月はコロナウイルス感染予防のため中止、雨天順延1回（3月実施）

■延べ参加者数：169名（大人45名、子ども124名）

○開催相談・支援団体：1団体

○用具貸出：1件

⑫ 在宅介護者のつどい事業

在宅で介護する方を対象に、日ごろの悩み相談や情報交換ができる仲間づくりの交流会、介護の技術や知識の学習会、介護者が日常的に抱える不安やストレス緩和のリフレッシュの機会などを設け、制度の円滑な利用や介護者の孤立防止を図り、在宅介護の充実に努めました。

開催日	開催場所等	内容	参加者数
R3.4.28(水)	長浜まちづくりセンター	ポッチャ交流会	8名
R3.5.21(金)	長浜まちづくりセンター	押花のランチョンマット作り	8名
R3.6.23(水)	長浜まちづくりセンター	あなたの笑顔が私の幸せ～スマイルレッスン	13名
R3.7.28(水)	湖北福祉ステーション	気軽にできる体操で身体も心もリフレッシュ	13名
R3.10.27(水)	湖北福祉ステーション	陶芸体験でリフレッシュ	12名
R3.11.12(金)	湖北福祉ステーション	フォークソングを歌ってリフレッシュ	12名
R3.2.8(水)	長浜まちづくりセンター	アーティフィシャルフラワーを使ったお正月飾りづくり講座	13名
R4.1.13(木)	湖北福祉ステーション	ボランティアによる初笑いレクリエーション	10名
R4.3.23(水)	長浜まちづくりセンター	自分でできる簡単リラックスと身体調整	7名

⑬ ふれあい備品購入助成事業

自治会に対して、地域福祉活動や交流事業等に必要な備品の整備を支援することで、地域活動・住民活動の活性化、住民相互の交流促進に努めました。

○助成内容 福祉活動・世代間交流に必要な備品購入助成
 ※1自治会 50,000円以内 購入費総額の2/3以内

○助成団体数 23自治会
 (テント、ベンチ、掃除機、刈払機、エアコン、ノートパソコン、フルカラー複合機、液晶テレビ、プロジェクター、ガスコンロ、湯沸器、会議机、椅子、空気清浄機、音響設備、レクリエーション器具等の購入助成)

⑭ ふれあい用具貸出事業

自治会等地域福祉活動を推進する団体等が行う地域行事に対して、必要な用具を貸出し、地域交流の増進に努めました。

○ふれあい用具貸出実績

用具名	貸出件数	用具名	貸出件数
ポップコーン機	7件	綿菓子機	9件
鉄板	2件	かき氷機	14件
たこ焼き機	1件	スクリーン	61件
サンタクロース衣装	8件	プロジェクター	97件
テント	5件	車いす(学習用等)	404件
ビンゴゲーム機	6件	その他	22件
マイク・アンプ	127件	輪投げ	53件
コミュニケーション麻雀	8件	レクリエーション用各種ゲーム	211件
合計	1,035件		

⑮ 福祉用具・福祉車両貸出事業

在宅の高齢者やしょうがい者へ車いすを貸出し、在宅での生活を支援しました。

また、外出支援として在宅で生活する高齢者や、しょうがい者の社会参加の促進と家族の絆を深めるため、介護車両の貸出しを行いました。

○福祉用具(車いす)の貸出回数 225回
 ○車いす移送用車両の貸出回数 475回

⑯ 第11回 社会福祉大会(社会福祉功労者表彰式)

社会福祉の推進・向上に多大な貢献をされた個人ならびに団体を表彰し、その功績を称えるとともに、多額の浄財を寄付していただいた個人・団体に対して感謝状を贈り、社会福祉の啓発を図りました。

また、地域福祉に対する理解と関心を高めるため、地域共生の取り組みや保護司の活動などを紹介するシンポジウムを行いました。福祉標語・福祉ポスターの表彰および発表、ボランティア活動の発表、各種福祉関係の展示等については、コロナウイルス感染防止の観点より中止しました。

○開催日時 令和3年11月23日(火・祝) 9:00~11:30
 ○開催場所 ひわ文化学習センターリュートプラザ
 ○社会福祉功績者表彰式

■会長表彰 【個人】: 24名

■感謝状（善意銀行の部）【個人】：1名【団体】：4団体

○福祉シンポジウム

基調講演「地域福祉のこれから ～福祉のまちづくりと地域福祉計画～」

講師：筒井のりこさん（龍谷大学教授・長浜市地域福祉計画推進委員会座長）

シンポジウム

「再犯防止について」

西橋 義仁さん（保護司会会長）

「余呉地区暮らしの困りごと相談会」

三段崎 静子さん（余呉福祉の会会長）

山路 満子さん（余呉地区地域づくり協議会事務局長）

参加者：179名

⑰ ワークキャンプ支援事業

中山間地域の地域課題緩和を目的として、若年層ボランティア（大学生）、一般ボランティアによる地域活動の参加を企画し、地域課題に対する認識と地域住民と参加者との交流を深めました。

また、余呉の歴史や文化、暮らしなどを実際に見て、聞いて、知ることによって中山間地域の魅力や少子高齢化などによる地域の暮らしの困りごとについて学ぶための体験学習を開催しました。

実施期間	実施地区	支援内容	延べ参加者数
R4.2.11～12	余呉地区 菅並・中河内自治会	除雪作業	83名

⑱ 福祉出前講座

市民団体、地域団体等が開催する研修会等に職員を派遣することで市民との協働による地域福祉活動の推進を図りました。

○福祉出前講座の開催（職員の派遣）

派遣件数：119件（地域福祉課：107件、介護事業課：12件）

受講者数：1,911名

内容	件数	内容	件数
防災ゲーム「HUG～避難所運営ゲーム～」	5件	災害時体験「災害時の生活」	2件
見守り活動のススメ	20件	サロンレクリエーション	43件
災害時体験「いざメシ作り」	7件	レクリエーションで日常の楽しみを	2件
高齢者疑似体験	2件	介護予防講座～健康は足もとから～	3件
回想法講座	2件	介護予防講座～脳活のすすめ	5件
クロスロード	1件	リクエスト講座	25件
成年後見制度と権利擁護事業	2件	合計	119件

⑲ 日常生活支えあい促進事業

高齢化の進行、核家族化やライフスタイルの多様化、中山間地域の人口減少など、地域に住む高齢者やしょうがい者、子育て世代など、日常生活を送るうえで様々な生活課題や日常生活の不便さを感じる方に対し、地域住民が主体的に地域の生活課題の解決に向けて取り組むこと目指して、地域支援組織（生活支援ボランティア組織等）の設立や活動支援を行いました。また、新規活動者養成のため、生活支援サポーター養成講座を開催し、生活支援の視点で地域を見つめ直し活動へつなげる機会としました。

○住民参加型の生活支援ボランティア組織等活動支援

■支援団体：かんだサポート会（神田地区）

元氣かい（余呉地区）

西黒田きんたろうサポート会（西黒田地区）
スマイルサポート西浅井（西浅井地区）
下草野地区地域づくり協議会（浅井地区）
たすけあい隊（虎姫地区）

■支援内容：活動従事者研修会の開催、活動費の助成、活動用具の貸与、送迎用車両の貸出、活動周知支援、活動保険加入支援等

○住民参加型の生活支援ボランティア組織等設立支援

■支援団体：話咲隊（長浜地区）、フレンド（六荘地区他）

■支援内容：事業説明および活動検討会議への参加等

○生活支援活動団体代表者交流会の実施

■日 時：令和3年12月17日（火）10:00～11:30

■内 容：「断らない相談支援体制について」

■講 師：長浜市社会福祉協議会 相談支援包括化推進員

■参加者：10名

⑳ 地域除雪推進事業

高齢者世帯およびしょうがい者世帯等の要援護者世帯等の除雪活動に対して、活動保険の加入、除雪支援用の小型除雪機の貸出を実施することで要援護者宅の除排雪活動を支援し、地域の見守り支えあいの活動による雪対策の推進を図り要援護者の冬期生活環境向上を推進しました。

○取り組み自治会数：73自治会

○要援護者登録世帯数：1,761世帯

○除雪支援活動登録者数：1,500名

○小型除雪機貸出件数：7件

㉑ 中山間地支援事業

人口減少や少子高齢化の影響が地域住民の生活や福祉活動に顕著に表れる中山間地域で、住民相互のたすけあい、支えあい活動や住民の憩いのための居場所づくり、生きがいを持って日々の生活を送り健康で健やかな暮らしを応援するための支援活動を行いました。

○地域カフェ「ほっこり茶屋」（コミュニティカフェ）

■開設日時：毎週木曜日 10:00～15:00（第5木曜、祝日、年末年始を除く）

■開設場所：余呉高齢者福祉センター

■開設日数：28日 ※4～8月は設備改修のため中止

■利用者数：延べ84名

○生きがいづくり教室

■開催日時：第1・3木曜日 9:00～12:00（第5木曜、祝日、年末年始を除く）

■開催場所：余呉高齢者福祉センター

■開催教室：壁掛けづくり教室、歌声喫茶、そば打ち 等

■開催日数：6日 ※4～8月は設備改修のため中止

■参加者数：延べ63名

㉒ ひきこもり者等支援事業

不登校者やひきこもり者等が他者と交流するための支援として、親の会や保健所等各関係機関と連携し、当事者の居場所づくりに取り組みました。また、“ひきこもり”に対する理解と地域でのあたたかい支援の輪を広げることを目的とした研修会を実施しました。

さらに、不登校やひきこもりに悩む子どもや保護者の孤立を防ぐこと等を目的にサポートブックを作成しました。湖北・湖東圏域で活動する支援団体や滋賀大学と協力し、長浜市・米原市・彦根市・犬上郡・愛知郡エリアの不登校／ひきこもり支援に関する情報をとりまとめました。

○「えんかふえ～ひきこもりの若者 不登校のこどもの居場所～」の開催

■開催日時：毎月第1・3木曜日 13:30～16:30

■参加者数：当事者延べ64名 保護者延べ21名

○研修会・家族交流会の開催

■第1回

◆開催日時：令和3年6月13日（日）13:00～15:30

◆内 容：「アーロン博士のHSP映画上映会『Sensitive-the Untold Story』&皆川公美子講演会」

◆開催目的：HSPという特性を多くの方に知っていただき、生きづらさを抱える方への理解を深める

◆講 師：皆川 公美子さん

◆参加人数：51名

※cotton～こっとな～共催

■第2回

◆開催日時：令和3年7月11日（日）13:00～16:00

◆内 容：「『不登校ってなに?』vol.3」

◆開催目的：①不登校の子どもたちの想いを知ることを通して不登校に関する理解を深める
②当事者同士、抱えている様々な思いを共有できるつながりをつくる
③不登校当事者家族への教職員や地域の人とのつながりをつくる

◆講 師：JERRYBEANS 山崎 史朗さん

◆参加人数：29名

※cotton～こっとな～共催

■第3回

◆開催日時：令和4年2月23日（水）13:30～15:00

◆内 容：「長浜市のひきこもり支援体制について」
相談支援包括化推進員による支援体制の説明

◆開催目的：①長浜市におけるひきこもり支援体制について周知を図る
②地域の見守りによって、ひきこもり者の存在に気付き、気掛かりなことを話し伝えることのできるネットワークを構築する
③地域で孤立することのないよう当事者・家族が気軽に相談できる地域づくりを行う

◆参加人数：16名

○親の会支援（会場手配、チラシ作成・配布支援、研修会開催支援等）

■支援団体数：1団体（cotton～こっとな～）

○発刊物

■不登校／ひきこもりサポートブック

◆目 的：保護者が手に取りやすい場所（公的機関や医療機関等）にこの情報誌を置き、早期に第三者に相談することで、不登校やひきこもりに悩む子どもや保護者の孤立を防ぐまた、不登校状態にある子どもの教育の機会や居場所が確保されるよう選択肢を増やす

◆配布および設置先：

50支援機関、団体（長浜市、米原市、彦根市）

※上記3市の小中学全児童生徒へチラシ配布と各校へのサポートブック設置

◆サポートブック作成プロジェクトチーム

〈代表〉 藤田 恵理 不登校の親の会

cotton〜こっとん〜代表

〈協力〉 原 一晃 不登校いきづらさを抱える児童生徒さんの居場所
づくりプロジェクトぱらでいる

〈協力〉 柴田 雅美 滋賀大学 「不登校プロジェクト」

②③ 福祉バス運営事業

市内で活動する福祉団体、ボランティア団体等が実施する様々な福祉事業（大会参加、研修事業、交流事業、ボランティア活動等）を支援するため、長浜市から委託を受け福祉バスを運行し、福祉団体活動の活性化、当事者団体による要援護者等の社会参加と交流を推進しました。

貸出件数・利用者数とも新型コロナウイルス感染症拡大前に比べ大きく減少しました。

○貸出件数：14件（大型バス4台、中型バス5台、小型バス9台）

○利用者数：259名

②④ 子ども食堂支援事業

子ども食堂の活動をとおして子どもと地域のつながりづくりの推進と、新たに活動を始める活動を充実させるための機会づくりに取り組みました。

○子ども食堂の新規立上げ、活動継続支援

市内子ども食堂数：15 団体

○県等が開催する研修会、交流会への参加支援

○活動者の情報交換、交流の場の実施

○子ども食堂団体代表者交流会の実施

■日 時：令和4年3月10日（木）13:30～15:40

■内 容：「コロナ禍における子ども食堂の活動」 ※米原市社協との共催事業

福井県立大学教授 吉弘 淳一さん

放課後等デイサービスAAO 代表 山野 孝治さん、田中 宏明さん

子ども食堂 青空 代表 中村 幸恵さん

■参加者：31 名

○活動費の助成

■助成金申請団体：5 団体

②⑤ 生活支援コーディネーター設置

高齢者に必要な生活支援等サービスの提供体制を構築するため、地域住民をはじめ生活支援等サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実、強化及び高齢者の社会参加などの支え合い活動を推進しました。

○第1層生活支援コーディネーター（市域）

業務内容	活動件数	コーディネーター 派遣延べ人数	参加者 活動者
長浜市高齢者保健福祉審議会規則（平成25年長浜市規則第74号）第6条第1項第2号に規定する長浜市支え合いの地域づくり推進委員会に構成員として参加する。	3件	4名	26名
小地域に配置するコーディネーターとの定期的な連絡会議及び情報交換を行う。 ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーターおよび小地域生活支援コーディネーターの数	60件	307名	143名
小地域協議体の代表者等による情報交換会及び情報紙の発行等、情報共有に向けた取組を行う。	18件	28名	367名
市域全体の高齢者の生活支援等サービスの開発に向けた既存団体等への働きかけおよび取組の支援を行う。 ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーターおよび小地域生活支援コーディネーターの数	28件	37名	165名
高齢者の生活支援に取り組む事業者や住民団体との情報交換及び連絡の場を設ける。 ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーターおよび小地域生活支援コーディネーターの数	10件	14名	78名
住民主体の高齢者の生活支援の担い手の養成研修及びスキルアップ研修を実施する。 （年1回、複数回で構成する養成講座を実施） ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーターおよび小地域生活支援コーディネーターの数	3件	13名	42名
国、県、市等で開催する介護予防・日常生活支援総合事業および生活支援体制整備事業に関するセミナー、または研修会等に参加する。	3件	6名	51名
市へ定期的な事業の進捗状況を報告する。	11件	21名	30名
地域づくり協議会に配置される地域活力プランナー等との連携を図る。 （市内の地域活力プランナーと生活支援コーディネーターの連携が図られるよう情報共有等を行う）	24件	101名	221名
その他	109件	166名	789名

○第2層生活支援コーディネーター（15 地区域）

業務内容	活動件数	コーディネーター 派遣延べ人数	参加者 活動者
地域で活動する住民団体（※）との意見交換会、情報提供を行い、小地域協議体活動としての働きかけを行う。 ※地区社会福祉協議会、地域づくり協議会、老人クラブ連合、自治会、サロンなど	3,120 件	3,635 名	13,705 名
担当する地域を管轄する地域包括支援センター圏域の地域ケア会議（自立支援会議）に参加する。	37 件	38 名	317 名
担当する地域を管轄する地域包括支援センター圏域の生活圏域ケア会議（個別ケア会議・生活圏域ケア会議）に必要に応じて参加する。	191 件	212 名	653 名
担当する地域を管轄する地域包括支援センターと情報提供等による連携を図り、地域で活動する住民団体等との連携に努める。	231 件	241 名	303 名
担当する地域の高齢者サロン等地域資源マップづくりへの支援を行う。	87 件	176 名	789 名
担当する地域の高齢者の生活支援等サービスの開発に向けた既存団体への働きかけおよび取り組みの支援を行う。	111 件	116 名	196 名
高齢者が担い手として活躍する場の確保に向けた取り組みを行う。（地域で活動する住民団体と連携し、高齢者が生きがいややりがいをもって活動できる場や機会の創出に取り組む。）	966 件	1,071 名	1,975 名
居宅介護支援事業所、生活支援等サービスの提供主体、介護サービス事業所等との連携を行う。 （居宅サービス提供主体との情報共有によるフォーマルサービスとインフォーマルサービスの活用を促進する）	23 件	25 名	32 名
国、県、市等で開催する介護予防・日常生活支援総合事業および生活支援体制整備事業に関するセミナーまたは研修会等に参加する。	2 件	112 名	13 名
地域づくり協議会に配置される地域活カプランナー等との連携を図る。（地区の状況にあわせ、地域づくり活動と地域福祉推進の連携を図る）	417 件	440 名	666 名
高齢者の活動支援を目的とした市等への補助申請等への手続の支援を行う。	221 件	226 名	239 名
その他	326 件	337 名	546 名

○サロン支援員

業務内容	活動件数	コーディネーター 派遣延べ人数 <small>※生活支援C○派遣人数</small>	参加者 活動者
自治会単位を基本とした住民主体の高齢者の通いの場（サロン等）の設立、運営支援を行うこと。	813 件	1,008 名	3,050 名
認知症研修やサロン等活動に有効な技術的研修等の受講による資質向上に努めること。	5 件	33 名	91 名
コーディネーターとの連携を図ること。 ※コーディネーター派遣延べ人数：市域全体生活支援コーディネーターおよび小地域生活支援コーディネーターの数	13 件	157 名	22 名
サロン等の支援活動を通じて、支援を必要とする人（要支援者）の把握及び当該要支援者を地域包括支援センターにつなぐなど連携した支援を行うこと。	21 件	23 名	50 名

②6 認知症サポーター等養成事業

認知症キャラバンメイトが地域住民に向けて開催する認知症の啓発活動を支援することで、認知症は身近な病気であることを住民に広く周知・啓発し、地域の認知症の理解者を増やし、地域ぐるみで認知症を見守る体制づくりを推進しました。

○認知症サポーター等養成講座

- 地域・自治会等への開催：13回（受講者数：302名）
- 絵本教室（小学校・中学校）開催：小学校 19回（受講者数：585名）
中学校 6回（受講者数：583名）

○認知症キャラバンメイト活動支援

- 定例会開催支援：一般メイト：52回 専門職メイト 1回

■リーダー会開催

◆一般メイトリーダー会

日 時：令和3年6月22日（火）13:30～14:20

場 所：長浜市役所3-B、zoom

参加者：キャラバンメイト15名 関係者15名

◆専門職メイトリーダー会

日 時：令和3年8月5日（木）

場 所：長浜まちづくりセンター3-A、zoom

参加者：キャラバンメイト 5名 関係者 2名

○研修会開催

■第1回研修会

◆日 時：①令和3年8月2日（月）10:00～11:20

②令和3年8月2日（月）14:00～15:20

◆場 所：①長浜まちづくりセンター 2階多目的ホール

②木之本まちづくりセンター3階集会室

◆内 容：講演「高齢者の尊厳を守るために“高齢者虐待の防止と早期発見のポイント”」

講師：長浜市高齢福祉介護課 中川 裕実さん、柏 菜穂子さん

◆参加者：①キャラバンメイト 21名、関係者 12名

②キャラバンメイト 21名、関係者 11名

■第2回研修会

◆日 時：①令和3年12月7日（火）10:00～11:40

②令和3年12月7日（火）14:00～15:30

◆場 所：①長浜市役所 多目的3・4

②木之本まちづくりセンター 3階集会室

◆内 容：講演「高齢者の尊厳を守るために“事例をとおした高齢者虐待の理解”」

講師：長浜市高齢福祉介護課 中川 裕実氏、柏 菜穂子氏

◆参加者：①キャラバンメイト 12名、関係者 9名

②キャラバンメイト 20名、関係者 11名

②7 地域共生社会推進事業

地域住民などが主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境の整備、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備を推進し、地域共生社会の実現に向けた地域力の強化に努めました。

また、少子高齢化や核家族化の進行、人口減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く複合・複雑化した課題に対応するため、相談支援機関等の連携を強化し、包括的な支援体制を構築するため、次の業務に取り組みました

○「暮らしの支えあい検討会」の開催：

■全地区（15地区）と地区をこえた課題をテーマに検討会の開催 延べ87回開催

（テーマ例）

◆地区をあげたフレイル予防活動 ◆しょうがい児の地域交流活動の検討と実践

◆外国人の暮らしの困りごと相談回 他

■実践活動及びその支援 7地区 延べ67回開催

（支援例）

◆フードドライブ活動の支援 ◆退職世代の地域のつながり活動支援 他

○研修会の実施

■「地域共生フォーラム2022」

◆日 時：令和4年3月5日（土）10:00～12:00

◆会 場：神照まちづくりセンター 参加者：57名

◆内 容：講演「みんなで取り組む地域共生社会づくり」

◆講 師：山崎 亮さん（studio-L 代表）

⑳ 重層的支援体制整備事業（多機関協働事業・参加支援事業）

複合化・複雑化した地域生活課題や支援ニーズに対応するため、属性を問わない相談支援・参加支援・地域づくり支援を一体的に取り組み、相談支援機関等との連携を強化し、包括的な支援体制を構築するための取り組みを進めました。

○相談支援の実施

■相支援件数：93件〔内訳：今年度新規受理58件 / 前年度より継続35件〕

■個別支援連携会議：47件

■相談支援包括化推進員による重点支援終了件数：7件

■社会資源のネットワーク開拓件数：22件

○連携体制の構築

■出前講座の実施

◆長浜第二地区民生委員児童員協議会

日 時：令和3年10月20日（水）13:30～

参加者：17名

テーマ：「ひきこもりの方への理解とサポートについて」

◆湖北福祉の会 湖北地区ひきこもり研修会

日 時：令和3年11月28日（土）10:00～

参加者：22名

テーマ：「長浜市でのひきこもり支援について」

◆長浜市生活支援活動団体 代表者交流会にて

日 時：令和3年12月17日（金）10:00～

参加者：12名

テーマ：「長浜市の断らない相談体制について」

◆地区社会福祉協議会（福祉の会）代表者会議

日 時：令和3年12月23日（木）10:00～

参加者：24名

テーマ：「社会的孤立者の支援と長浜市の断らない相談体制について」

◆令和3年度ひきこもり研修会

日時：令和4年2月23日（水）13:30～

参加者：16名

テーマ：「長浜市のひきこもり支援体制について」

◆令和3年度 第2回重層的支援体制整備事業にかかる研修会

日時：令和4年3月10日（木）13:30～

参加者：67名

テーマ：「長浜市の多機関協働事業について」

■新たな資源創出に向けた取組み

◆「参加支援に関わる意見交換会」を開催

日時：令和3年8月6日（金）10:00～

参加者：認定就労訓練事業所や就労支援に取り組む関係者

■思いつながるプロジェクト

◆新型コロナウイルス感染症などの影響により、生活に困窮する方の支援として、特に食料を中心とした「寄付から配布」の流れをつくるフードバンク・フードドライブ活動の支援



◆フードドライブ（FD）協議／意見交換会

開催日	内容	出席人数
R3.5.11（火）	アイリスオーヤマFD 活動依頼	3名
R3.6.1（火）	ユーハイムFD 活動依頼	4名
R3.6.11（金）	六荘地区：FD 活動協議	4名
R3.7.21（水）	滋賀県防災危機管理局FD 活動依頼	4名
R3.8.19（木）	研修会／意見交換会	31名
R3.10.27（水）	情報交換会	6名
R4.1.5（水）	情報交換会	4名
R4.2.14（月）	情報交換会	7名
R4.2.17（木）	情報交換会	5名
R4.3.8（火）	情報交換会	4名

◆フードドライブ（FD）実施

開催日	会場	利用人数
R3.7.31（土）	六荘地区：FD 活動（食材集め）	21名
R3.10.23（土）	さざなみタウン	12名
R3.12.18（土）	さざなみタウン	30名

R4.1.21 (金)	市役所本庁舎	70名
R4.1.24 (月)	長浜保健所	3名
R4.1.28 (金)	さざなみタウン	6名
R4.2.4 (金)	さざなみタウン	5名
R4.3.18 (金)	GEO (国際交流ハウス)	15名
R4.3.19 (土)	さざなみタウン	60名

(2) ボランティア支援

① ボランティアセンター事業

ボランティア活動を支援し住民参画による地域福祉の推進を図りました。地域住民が幅広くボランティア活動に参加できるよう、活動に関する相談、情報・資料の提供、講座の開催やボランティア活動に対する啓発、また活動者が安心して活動ができるようボランティア活動保険の加入の推進に努めました。

○ボランティア登録団体数 227 団体 (R4.3.31 現在)

○ボランティアコーディネート件数

■ボランティア相談件数 1,152 件

■ボランティア派遣回数 162 件

○ボランティア団体の活動支援

■ボランティア活動助成について

◆助成団体数：72 団体 (1 団体上限 40,000 円)

◆助成金額：2,419,922 円

○ボランティア講座の開催

講座名	主な内容	講座回数	延べ受講者数
子どもボランティアきっかけ講座	～地域へ出向きボランティアをしてみよう～	4 回	38 名
初級手話教室	手話の基礎研修 (土曜コース・平日コース)	6 回 (2 会場)	147 名
ボランティアきっかけ講座	性同一性障害の僕の人生を変えたボランティア活動	1 回	64 名
ボランティア養成講座	大道芸に挑戦しよう	2 回	21 名
防災養成講座	災害ボランティアセンターとは	1 回	50 名
オンライン DE ボランティア	施設やサロンを繋いでボランティア活動	7 回	—

○情報紙の発行 ※【広報紙の発行】参照

○ボランティア登録の推進

■新規登録団体：6 団体

○ボランティア発表会

■アル・プラザ長浜

◆令和3年10月30日(土)

○ボランティア展示会

■アル・プラザ長浜 令和3年12月22日(水)～令和4年3月23日(水)

- ◆十里町いきいきサロン 作品展示
- ◆湖北町沢サロン『オアシス』 作品展示
- ◆スマイルはんこ心愛（ここあ） 作品展示
- ◆山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会 資料・写真展示
- ◆びわ男倶楽部 地域の風景・名所の写真展示
- ◆書道サークル筆花会 作品展示
- ◆和装&着物リフォーム 作品展示
- ◆戦争体験を語り継ぐ会 写真・パネル展示
- ◆長浜地区社会福祉協議会 活動紹介

○ボランティア保険の加入促進と事務取扱

■ボランティア保険取扱数

- ◆ボランティア活動保険 3,339 名
- ◆ボランティア行事用保険 150 件
- ◆福祉従事者保険 19 件

■事故・変更対応取扱数

- ◆事故対応 6 件
- ◆行事変更対応 9 件

○ボランティア連絡協議会への支援：6 団体（地区）

■市内ボランティア連絡協議会活動費助成金

- ◆助成団体数：1 団体
- ◆助成額：50,000 円以内

■市内6つのボランティア連絡協議会会議

- ◆会議開催：23回
- ◆事業数：4回

■市内ボランティア連絡協議会代表者会の開催

- ◆会議開催：1回

② 災害ボランティアセンター体制整備事業

災害ボランティアセンターの体制整備を回り方が一の災害時に対応して、円滑なセンターの設置および運営が実施できるよう準備するとともに、併せて市民啓発を行うことで地域住民の災害に対する関心を高めました。

○災害ボランティアセンターの啓発

■防災出前講座

- ◆講座開催数：8回
- ◆内 容：災害時体験講座「いざメシ」を作ろう等

■災害ボランティアセンター運営者養成講座

- ◆日 時：令和3年6月21日（月）
- ◆内 容：災害ボランティアセンターとは
- ◆参加者数：50名

③ 福祉教育推進事業

市内の小学校・中学校・高等学校・養護学校等との連携を基盤として、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育てるため、児童・生徒が身近にボランティア活動や福祉活動に取り組める福祉教育の推進に努めました。また地域、自治会や福祉施設等において、体験をとおした思いやりや助け合う意識力を高める取り組みも行いました。

○支援学校数

- 小中学校 24校 (延べ4,967名)
- 養護学校 1校
- その他(地域、自治会、施設等) 6団体

○学習プログラム支援

- 支援時間数：171時間
- 主な学習プログラム

- ◇インスタントシニア体験 ◇車いす体験 ◇手話について学ぶ
- ◇点字について学ぶ ◇要約筆記について学ぶ ◇アイマスク体験
- ◇しょうがい者等当事者からの体験談 ◇ボランティア学習 ◇災害 他

(3) 生活相談支援

① 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分なため権利侵害を受けやすい認知症・知的しょうがい・精神しょうがいのある方等に対して、福祉サービスの利用手続きの支援をはじめ、日常的な金銭管理、書類等の保管などを行いました。福祉サービス・行政サービス等を適切に利用できるような支援し、また不当な権利侵害等を未然に防ぐことに努め、地域で安心して生活が送れるように支援しました。

(援助内容)

- 福祉サービスの利用援助
- 日常的な金銭管理
- 書類等預かりサービス

	認知症 高齢者	知的 しょうがい 者	精神 しょうがい 者	その他	合 計
利用者数 (R4.3.31 現在)	102名	91名	61名		254名
新規利用者数	18名	7名	10名		35名
利用終了者数	18名	3名	5名		26名
相談援助回数	5,721回	5,663回	3,544回	3回	14,931回

② 成年後見事業

判断能力が不十分で、契約などの法律行為等について自己の判断で適切に行うことが困難な方に対し、本人の判断能力に応じ、意思決定が最大限尊重されるよう本会が成年後見人等となり、財産管理・身上監護・その他必要な法律行為を行いました。

また、市の委託を受けて長浜市成年後見・権利擁護センターを運営し、成年後見制度や利用手続

き支援、地域の中で権利擁護体制の基盤を作るための啓発講座等を実施しました。

○法人後見事業（財産管理・身上監護・その他、本人の権利擁護に必要な法律行為等）

■法人後見受任

	受任件数 (R4.3.31 現在)
後見類型	8 件
保佐類型	6 件
補助類型	1 件

○成年後見サポートセンター事業

■広報・啓発事業

出前啓発活動	関係団体：5 団体 受講者：126 名		
啓発講座の開催	日時	内容等	受講者数
	R3.8.20（金）	～基礎からわかる成年後見講座～	12 名
	R3.1.14（金）	医療と福祉における ACP	23 名
	R4.1.21（金）	その人らしく生きることを考える	26 名
	R4.1.28（金）	地域生活支援と権利擁護	15 名
啓発資料の作成	カレンダー・年齢早見表：2,000 部		

■成年後見サポーター養成講座

成年後見及び地域福祉権利擁護事業の担い手を育成するサポーター養成講座を開催しました。

成年後見サポーター 養成講座の開催	日時	内容等	受講者数
	R3.9.30（木）	成年後見制度概要及び必要性、制度を利用した生活支援事例	14 名
	R3.10.7（木）	知的しょうがい者・精神しょうがい者への理解及び相談援助の方法 地域福祉権利擁護事業の概要	16 名
	R3.10.14（木）	認知症への理解及び相談援助の方法	15 名
	R3.10.21（木）	社会保障と消費生活の理解	12 名
	R3.10.28（木）	後見事務の方法～成年後見制度の申立て方法について～	15 名

■相談支援回数

事項(対象)		相談者							合計
		本人	親族	福祉	医療	司法	行政		
成年後見制度に関する相談	認知症高齢者	14回	53回	154回	11回	7回	11回	250回	
	知的しょうがい	1回	16回	36回	6回	1回	6回	66回	
	精神しょうがい	1回	3回	8回	8回	1回	4回	25回	
市長申立手続きに係る相談	認知症高齢者						26回	26回	
	知的しょうがい						7回	7回	
	精神しょうがい						1回	1回	
合計		16回	72回	198回	25回	9回	55回	375回	

■申し立て支援回数

事項(対象)		対象者			合計
		本人	親族	行政	
後見申立	認知症高齢者	3回	20回	24回	47回
	知的しょうがい	0回	10回	4回	14回
	精神しょうがい	0回	0回	1回	1回
保佐申立	認知症高齢者	2回	3回	14回	19回
	知的しょうがい	4回	17回	0回	21回
	精神しょうがい	0回	1回	0回	1回
補助申立	認知症高齢者	0回	1回	17回	18回
	知的しょうがい	0回	0回	1回	1回
	精神しょうがい	0回	0回	0回	0回
合計		9回	52回	61回	122回

■成年後見受任者支援 成年後見制度受任者情報交換会

開催日	開催内容	参加人数
R4.3.18(金)	親族と親族後見人について 意見交換会	15名

■くらしの困りごとなんでも相談会(ワンストップ相談会)の開催

開催日	開催場所	相談件数
R4.1.20(金)	長浜市役所本庁舎	6組

■運営委員会の開催

第1回 令和3年7月28日(水) 14:00~15:30

■関係者協議会の開催

第1回 令和3年10月18日(月) 10:00~11:30

第2回 会議中止に伴い、書面にて事業実施報告を行う。

■地域連携ネットワーク会議の開催

第1回 令和3年11月29日(月) 10:00~12:00

第2回 会議中止に伴い、書面にてアンケートを行う。

③ よろず相談事業

広く住民の日常生活上の悩みや心配ごとの相談を受け、適切な情報の提供を行い、地域住民の福祉増進と、生活の安定を図れるように努めました。

○開設日時・場所

開設場所	開設日	開設時間
長浜市社会福祉センター (専用電話 63-4811)	毎週月・火・水・金曜日	午後1時～午後4時
	毎週木曜日	午前9時～正午
湖北福祉ステーション	毎月第4水曜日	午前10時～正午
木之本福祉ステーション	毎月第4木曜日	午前9時～正午

○相談実績

区 分	開設日数	相談件数	
1. よろず相談	①一般相談	231日	161件
	②専門相談	67日	25件
2. 法律相談	24日	108件	
合 計	322日	294件	

○よろず相談員研修会

開催日	内容	出席人数
R3.12.2(木)	相談員としてのかかわり方	25名

④ 生活福祉資金貸付事業(受託事業)

滋賀県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯、高齢者世帯、しょうがい者世帯を対象に、必要な資金の貸付及び生活相談を行うとともに、民生委員・児童委員の指導、援助を受けることで経済的自立および生活意欲の助長・促進ならびに在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活に向けての支援を実施しました。

○新規貸付件数(特例を含む) 2,251件

■総合支援資金・福祉資金・教育支援資金 41件

資金種別	貸付件数
総合支援資金	0件
福祉費	8件
緊急小口資金	5件
教育支援資金	28件

■特例貸付(実施期間延べ件数) 2,210件

資金種別 (特例貸付)	受付件数
緊急小口資金	679件
総合支援資金	642件
総合支援資金(延長)	179件
総合支援資金(再貸付)	710件

⑤ たすけあい資金貸付事業

緊急的に生活維持費が必要な世帯に対し、生活資金を貸付けることにより安定した生活が営めるよう支援を行いました。

- 新規貸付件数 35件
- 新規貸付額 1,390,000円
- 年度末貸付件数 88件
- 年度末貸付額 2,414,000円（令和4年3月31日現在）

⑥ 緊急食料給付事業

低所得世帯等で緊急的に食料給付が必要な世帯に対し食料品を給付し、当該世帯の生活維持の支援を行いました。また、電気・ガスの供給停止等により給付する食料の調理が困難な場合には、調理器具を貸与しました。

- 緊急食料給付件数 83世帯（実人数 110名）
- 調理器具貸与件数 2件

⑦ しょうがい相談支援事業所「ふらっと」「ナノハナ」の運営

しょうがい福祉等の総合相談窓口として、本人やご家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、サービス利用計画の作成等の支援を行うとともに、福祉サービスや制度利用についての情報提供および利用支援を行いました。

福祉サービスを利用または利用見込みのしょうがい児・者に対して計画相談支援に基づくサービス等の利用計画の立案を行い、適切なサービスを利用し安心して生活できるよう支援しました。また、定期的にサービス利用状況のモニタリング及びアセスメントを行いサービス計画の適切な見直しを実施しました。

○個別相談援助業務

サービス等利用計画作成契約者数 287名（R4.3.31 現在）

	延べ支援件数
しょうがい福祉サービス等の利用援助	5,297件
生活支援に関する計画作成	303件
ケアプラン作成後のモニタリングの実施	705件
サービス調整連絡会議の開催	204件

○しょうがい福祉に関する調整業務等

■長浜米原しょうがい者自立支援協議会への参画と協働・連携体制の構築

- ◆全体会 年間2回
- ◆当事者サポーター推進分科会 年間6回
- ◆相談ワーカー部会 年間6回
- ◆その他研修会等への参加

■湖北地域相談支援事業所会議への参加と情報共有・連携体制の構築 年間5回

■職員定例会の開催と情報共有・連携体制の構築 年間10回

■基幹相談調整センター機能強化員会議 年間11回

⑧ 長浜米原しょうがい児者基幹相談調整センターの運営（受託事業）

長浜市および米原市におけるしょうがい相談支援体制強化の中核的な役割を担うために、基幹相談調整センターを運営しました。

湖北福祉圏域の課題整理と分析を行い、しょうがい児・者自らが選択した場所で、希望する生活

を続けることができるようサービス等利用計画作成のための調整、しょうがい福祉専門職の人材育成、関係機関ネットワークの構築に向けた取り組みを進めました。

また、長浜米原しょうがい者自立支援協議会事務局を運営し、福祉関係者だけでは解決できない地域課題に対して、医療・教育・就労・行政その他専門機関が連携し、課題解決に向けた取り組みを継続的に実施しました。

○会議の開催

- 機能強化員連携会議 12回
- 基幹センター運営会議 12回
- 相談支援事業所管理者会議 2回
- 放課後等デイサービス事業所懇談会 2回
- 長浜米原しょうがい者自立支援協議会（事務局会議・運営会議・全体会議） 20回

○研修会の開催

	期日	内容等	受講者数
若手職員向け連続講座の開催	(第1回)R3.7.29(木)	消費トラブルとその対応について	21名
	(第2回)R3.8.12(木)	職場の人間関係について	19名
	(第3回)R4.3.10(木)	コミュニケーションの重要性について	12名
	(第4回)R3.10.14(木)	精神障害の理解と支援について	18名
	(第5回)R3.11.11(木)	救命講習	10名
	(第6回)R3.12.16(木)	虐待防止について	29名
	(第7回)R4.1.13(木)	しょうがいのある方の就労支援について	19名

	期日	内容等	受講者数
相談支援専門員スキップ研修	(第1回)R3.6.30(水)	新型コロナウイルスワクチンについての情報共有	27名
	(第2回)R3.10.8(金)	令和3年度の報酬改定について 日中サービス支援型共同生活援助について	21名
	(第3回)R3.10.27(水)	事例検討会	17名
	(第4回)R3.11.24(水)	事例検討会	23名
	(第5回)R3.12.6(月)	事例検討会	20名

	期日	内容等	受講者数
福祉サービス提供事業所職員向け研修会	(第1回)R3.10.13(水)	セルフリーダーシップのすすめ	60名
	(第2回)R3.9.21(火)	ゲートキーパー養成講座	36名
	(第3回)R3.12.20(月)	共生型サービスの理解	50名
	(第4回)R4.3.3(木)	BCP作成・見直しのポイント	15名

	期日	対象
関係機関・地域への研修会（出前講座）	R3.5.15(土)	滋賀県介護に関する入門的研修受講者
	R3.11.22(月)	湖北福祉の会しょうがい部会、民生委員
	R3.12.9(木)	ひかり福祉会湖北圏域 GH 世話人
	R4.2.15(月)	びわ福祉の会、民生委員

○講演会の開催

■東京2020パラリンピック車いすバスケット日本代表「清水千浪さん」講演会

◆開催日 令和4年2月24日(木)

◆参加者 50名

◆会場 長浜まちづくりセンター多目的ホール

○長浜米原しょうがい者自立支援協議会の活動

専門部会	活動数	専門部会	活動
相談ワーカー部会	5回	権利擁護部会全体会	5回
ジョブスター会議	7回	当事者サポーター推進分科会	6回
学卒分科会	3回	虐待防止分科会	5回
発達しょうがい者支援部会	8回	重介護医療ケア検討部会	6回
新型コロナプロジェクト会議	8回	合計	53回

自立支援協議会主催 の研修会	期日	内容等	受講者数
	R3.7.15(木)	防災基礎研修 「医療的ケアが必要な障害児者への災害 対策」	60名
R3.11.12(金)	ジョブスター会議支援者向け研修会	36名	
R3.11.29(月) R3.12.3(金)	新型コロナウイルス感染症予防研修会	30名	
R4.2.19(土)	新型コロナウイルス感染症予防研修会	15名	

2. 在宅介護サービス

業務改善の取り組みとして、ICT化を推進することで、事務の軽減を図り利用者へのケアにマンパワーを向けられるよう体制整備を図りました。また、時間外労働の削減などに努め、職員のワークライフバランスの実現に努めました。

また、経営改善においては、人員配置の適性化を進めるとともに、新規利用者の獲得に関しては、関係機関との連携を深め取り組みました。

感染対策に関しては、一年をとおして新型コロナウイルスの感染に細心の注意を払う年となりましたが、感染対策を着実に実行しサービスの継続に努めました。

(1) 居宅介護支援事業所

①居宅介護支援事業（介護保険事業）

②介護予防支援事業（受託事業）

3事業所 シャきょうケアプランセンターびいす（北部福祉ステーション）
 シャきょうケアプランセンターえいる（湖北福祉ステーション）
 シャきょうケアプランセンターらいと（西浅井福祉ステーション）

■専門性の高い職員による多様なニーズへの対応、職員スキルアップのための育成・指導・相談体制の機能強化を継続し、3事業所で引き続き特定事業所加算Ⅱを算定しました。また、えいるでは、医療機関等の連携強化、ターミナルケアマネジメントの実績等により、特定事業所医療介護連携加算を算定することができました。

■タブレット端末を導入し、利用者宅で情報確認、記録等を行えるようにし、スムーズな相談対応、事務効率を図りました。

■「びいす」を9月に浅井センターから北部福祉ステーションに事業所を移し、地域包括支援センターとの連携促進、旧長浜市域の新規利用者の拡大に努めました。

（居宅介護支援事業実績）

（延利用者数 [単位:名]）

区 分	事業所			合 計	前年度	前年比	
	えいる	らいと	びいす				
常勤換算数（名）	7	4	4.5	15.5	16.5	93.9%	
利 用 者 数	事業対象者（名）	7	0	0	7	16	43.8%
	要支援者（名）	373	231	262	866	865	100.1%
	要介護者（名）	2,172	1,547	1,649	5,368	5,810	92.4%
	合 計（名）	2,552	1,778	1,911	6,241	6,691	93.3%
平均持ち件数（名） ※1	28.1	34.6	33	31.9	35.7	89.4%	

※1 平均持ち件数 = { (事業対象者 + 要支援者) ÷ 2 + 要介護者 } ÷ 常勤換算数 ÷ 12か月

(2) 訪問介護事業所 (ホームヘルプサービス事業)

- ①指定訪問介護 (介護保険事業)
- ②総合事業訪問介護 (介護予防日常生活支援総合事業)
- ③居宅介護 (障害者総合支援事業)
- ④重度訪問 (障害者総合支援事業)
- ⑤同行援護 (障害者総合支援事業)
- ⑥しょうがい者等移動支援事業 (市受託事業)
- ⑦養育支援訪問事業 (市受託事業)
- ⑧自費サービス (介護保険外サービス)

2事業所 しゃきょうヘルパーステーションこくあ (浅井福祉センター)

しゃきょうヘルパーステーションあとれ (伊香の里)

※「らいむ」(高月福祉ステーション) 令和3年4月1日「りあん」、「あとれ」に統合

※「りあん」(北部福祉ステーション) 令和3年9月1日「こくあ」に統合

■令和2年度の4事業所体制から2事業所体制に移行し、職員研修育成体制、サービス管理体制の向上に努めました。

■12月よりスマートフォン端末を利用したシステム(アプリ)を導入し、訪問記録、訪問介護員間の情報共有、指示の伝達等を行えるよう運営体制整備し、サービス管理、事務の効率化を図りました。

(ホームヘルプサービス事業実績)

(延利用者数 [単位:名])

区分	りあん	こくあ	あとれ	合計	前年度合計	前年比
訪問介護事業 (介護保険事業)	3,076	8,943	13,913	25,932	35,916	72.2%
身体介護	1,604	4,908	8,210	14,722	19,135	76.9%
身体・生活	727	1,635	3,158	5,520	5,952	92.7%
生活援助	745	2,400	2,545	5,690	9,163	62.1%
総合事業訪問介護事業 (介護予防日常生活支援総合事業)	511	1,250	2,722	4,483	4,458	100.6%
居宅介護事業 (障害者総合支援事業)	986	5,635	4,278	10,899	11,454	95.2%
身体介護	798	4,138	2,623	7,559	7,483	101%
家事援助	184	1,469	1,601	3,254	3,863	84.2%
通院介助	4	28	54	86	125	68.8%
重度訪問介護事業 (障害者総合支援事業)	44	69	0	113	329	34.3%
同行援護事業 (障害者総合支援事業)	3	63	172	238	103	231.1%
しょうがい者移動支援事業 (市受託事業)	0	0	28	28	59	47.5%
養育支援訪問事業 (市受託事業)	0	29	0	29	48	60.4%

特定旅客自動車運送事業 (道路運送法第43条による)	—	—	—	—	5	—
合計	4,620	15,989	21,113	41,722	52,372	79.7%

※「しゃきょうヘルパーステーションりあん」は令和3年4月～8月の実績

(3) 通所介護事業所 (デイサービス事業)

①通所介護事業 (介護保険事業)

②総合事業通所介護事業 (介護予防日常生活支援総合事業)

③共生型生活介護 (しょうがい福祉サービス事業) ※1の事業所で実施

10事業所

■新型コロナウイルス感染症が発生する中で委員会・部会の開催・研修の実施を行い感染症対策の強化を図りました。

■自立支援・重度化防止を効果的に行うため、多職種によるリハビリ・栄養・口腔の取り組みを行いました。

■特色のある事業運営として、6事業所がリハビリデイサービスとして機能訓練に特化したサービスを提供しました。利用時間についても柔軟に対応し利用者様個々のニーズにあったサービス提供に努めました。

■リハビリ・機能訓練・日々の過ごし方等について計画し、科学的介護 LIFE データの提出に取り組みました。

■全てのリハビリデイサービスにおいて、利用者自ら自主的にリハビリを実施できるよう、フロアにリハビリ器具を配置し、要支援の方から重度の方まで、無理なく使用して頂くことで、身体機能の維持向上に取り組みました。

■コロナ禍のため全体研修は ZOOM セミナーを実施しました。利用者様の尊厳の保持・マナーや接遇など基礎的な研修を行い、ケアの質の向上に繋げることができました。

(デイサービス事業実績)

(延利用者数 [単位:名])

区分	開所日数 (前年比)	延利用者数(名)		前年度 (名)	前年比	定員 開所日
		介護サービス	介護予防サービス			
リハビリデイサービス 東部	307 (-3)	介護サービス	6,591	6,047	109%	35名 週6日
		介護予防サービス	574	607	94.6%	
		計	7,165	6,654	107.7%	
神照リハビリデイサービス	260 (-25)	介護サービス	5,407	4,723	114.5%	35名 週5日
		介護予防サービス	1,415	1,021	138.6%	
		計	6,822	5,744	118.8%	
リハビリデイサービス 浅井	309 (-1)	介護サービス	6,034	6,568	91.9%	35名 週6日
		介護予防サービス	195	318	61.3%	
		計	6,229	6,886	90.5%	
デイサービスいろはの湯 (虎姫) ※1	260 (+1)	介護サービス	3,396	3,065	110.8%	30名 週5日
		介護予防サービス	384	483	79.5%	
		共生型サービス	249	11	2263%	
		計	4,029	3,559	113.2%	

しゃきょうデイサービス はなれいろは(びわ)	77 (-180)	介護サービス	250	1,636	15.3%	18名 週5日
		介護予防サービス	21	230	9.1%	
		障がいサービス	9	122	7.4%	
		計	280	1,988	14.1%	
リハビリデイサービス 湖北	309 (-1)	介護サービス	6,097	5,914	103.1%	35名 週6日
		介護予防サービス	768	502	153%	
		計	6,865	6,416	107%	
しゃきょうデイサービス 高月 ※1	309 (-1)	介護サービス	5,180	5,301	97.7%	35名 週6日
		介護予防サービス	782	590	132.5%	
		共生型サービス	328	254	129.1%	
		計	6,290	6,145	102.4%	
リハビリデイサービス 伊香の里アネックス (木之本)	309 (-1)	介護サービス	4,241	5,025	84.4%	35名 週6日
		介護予防サービス	1,096	870	126%	
		計	5,337	5,895	90.5%	
リハビリデイサービス 西浅井	308 (-2)	介護サービス	8,535	8,955	95.3%	40名 週6日
		介護予防サービス	1,096	1,054	104%	
		計	9,631	10,009	96.2%	
しゃきょうデイサービス 伊香の里	304 (-6)	介護サービス	6,001	6,351	94.5%	40名 週6日
		介護予防サービス	1,731	1,558	111.1%	
		計	7,732	7,909	97.8%	
合 計	-	介護サービス	51,732	53,585	96.5%	-
		介護予防サービス	8,062	7,233	111.4%	
		障がいサービス	586	387	151.4%	
		計	60,380	61,205	98.7%	

※2 「しゃきょうデイサービスはなれいろは」は令和3年12月で事業所を廃止

(4) 活動支援型通所サービス事業所

①活動支援型通所サービス事業(介護予防日常生活支援総合事業)

■一人ひとりの生きがいや自己実現のために、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう自立に向けた活動を提供しました。

(活動支援型通所サービス事業実績)

区 分	定 員(名)	開所日数(日)	延利用者数(名)
しゃきょうミニデイ北部	13	50	303
しゃきょうミニデイ高月	13	50	362
合 計	-	-	665

(5) 地域密着型介護事業所

①小規模多機能型居宅介護事業（介護保険事業[地域密着型サービス]

②介護予防小規模多機能型居宅介護事業（介護保険事業[地域密着型サービス]

■デイサービス・ホームヘルプ・ショートステイの複合型サービスを、利用者のニーズに合わせて提供し、住み慣れた自宅での生活が継続できるよう支援しました。

（ひなたぼっこ実績） 登録者定員 20 名・通所介護定員 10 名

区 分		実績（名）	前年度（名）	前年比
登録者平均数		18.8	17.2	109.3%
延利用者数		4,223	3,455	122.2%
利用サービス	訪問延利用者数	1,415	344	411.3%
	通所延利用者数	2,658	2,744	96.9%
	宿泊延利用者数	150	367	40.9%

※小規模多機能型居宅介護：要支援や要介護状態となっても可能な限り住み慣れた自宅や地域での生活が維持できることを目的としたデイ・ヘルプ・ショートを一体化させ、同じ施設でサービスを提供します。利用者とスタッフがなじみの関係が築けるよう区域を限定した小規模な施設となります。

(6) その他の取組み

①こほく健康づくり広場事業

長浜市内の高齢者を対象に、トレーニングマシンによる運動の場所を提供し、介護予防および健康増進を図るとともに、高齢者の生きがいづくりや社会参加などを促すことで、閉じこもりや加齢による身体機能の低下防止を図りました。

○開催場所 湖北センター

○開催実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開催日数	21日	18日	22日	20日	18日	休止
利用者数	409名	306名	331名	306名	206名	休止
開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日数	20日	20日	19日	19日	18日	22日
利用者数	289名	303名	261名	250名	229名	283名

※9月は新型コロナウイルス感染症予防のため、開催を休止しました。

②介護・介護予防出前講座

（出前講座）

介護予防の推進、家庭介護者の負担軽減を図るため、各事業所の専門職員が、自治会、老人会、

サロン等の地域へ出向き、介護、介護予防、認知症予防等の講座を実施しました。

実施件数：12件 内容：介護予防講座等

(ながいき活動)

長浜市内で活動されているサロングループのうち応募された7グループを対象に、リハビリテーション職が3ヶ月に1度訪問し、介護予防講座および日頃の体操の振り返りや運動機能評価（体力測定）を実施しました。

また、日々の体操および栄養を記録するカレンダーを配布し、参加者自身が主体的に実施することで、運動機能や栄養などの維持・改善を図ることを目的としました。

実施自治会 (地区)	実施期間	参加者数	延べ参加者数
柳（六柱）	令和3年10月～令和4年3月	6名	15名
栄船（長浜）	令和3年10月～令和4年3月	9名	17名
加納（南郷里）	令和3年10月～令和4年3月	17名	32名
大井（虎姫）	令和3年10月～令和4年3月	18名	37名
田部（木之本）	令和3年10月～令和4年3月	11名	22名
塩津浜（西浅井）	令和3年10月～令和4年3月	11名	24名
沓掛（西浅井）	令和3年10月～令和4年3月	22名	49名

※大井、田部、塩津浜、沓掛は令和4年9月まで実施予定

③その他

(介護実習生受入)

各サービスにおいて介護職を目指す生徒・学生・社会人を実習生として受入れ、介護への理解と将来の実践者教育としての指導を行いました。

介護実習依頼元	受入事業	受入人数	期間
滋賀県立長浜北星高等学校	通所介護	6名	8月17日～8月30日
滋賀県社会福祉協議会	居宅介護支援	1名	2月9日～2月15日

3. 施設介護事業

自宅を離れ施設に入所されても、住み慣れた地域で最後まで地域社会の一員として生きいきと自分らしい生活が送れるよう、利用者一人ひとりの尊厳を守り、その方が望む生活を営むための適切で質の高いサービスを提供できるように努めました。また、コロナ禍での様々な制限がある中でも、利用者家族との関係や現在のサービスの質を低下させないための取り組みを継続して行いました。

令和元年から長浜市に申請していた、特養入所の床数と短期入所（ショートステイ）の床数の定数変更が認可され、令和3年4月から6月にかけて段階的に床数変更を行いました。最終的に特養入所50人→58人、短期入所（ショートステイ）20人→12人へ定員変更を行いました。以前より短期入所の空きベッドの活用が問題になっていましたが、7月より稼働率も上がり多くの方にご利用いただくことができました。

委員会活動や研修会はリモートで実施し、職員の資質と意欲の更なる向上を図り、利用者の生活改善に取り組みました。

設備面では、タブレットを使用した記録の管理を行い、見守り機器の全床導入を行い、より安全な介護の実施と介護負担の軽減を図りました。

感染予防に関しては、次亜塩素酸水での手洗いの実施、入館前の検温、マスクの着用、入館制限（必要業者のみ入館許可書記入にて入館）、面会はリモート面会や玄関でのガラス越し面会（看取り期のご家族は直接面会）での実施など、感染予防の徹底を図りました。

コロナ対策としては、湖北病院からの嘱託医と連携を取り、症状の発見、PCR検査の実施、入院対応など早期対応にてクラスター化しないよう取り組みました。病院の感染委員会との連携による対応のマニュアル化を図り、どの職員も同じ動きが取れるような体制をとりました。

また、感染対策の観点から例年実施しておりました小学生との福祉交流学習受入や、多くのボランティア団体等のご協力による除草作業、車いす磨き、窓ふきなどの行事については、やむなく中止といたしました。除草作業に関しては、嘱託医の許可を得て（屋外作業のため）、つつじ作業所と伊香の里職員合同で実施しています。

(1) 特別養護老人ホーム

①介護老人福祉施設（介護保険事業）

②短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業（介護保険事業）

○稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
稼働率(%)	9653	9541	8724	9466	9544	9517	9594	9713	9310	9449	9489	9238	94.37	95.02

○介護度別入所者数（月末在籍者数） 単位：名

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1
要介護3	15	16	17	17	16	16	17	16	16	17	18	19	16.7	15.0
要介護4	22	21	23	22	23	19	20	20	22	22	23	22	21.6	20.8
要介護5	13	15	16	17	19	19	20	21	19	17	17	15	17.3	12.9
合計	50	52	56	56	58	54	57	57	57	56	58	56	55.6	48.8
退所者数	0	0	1	3	1	5	1	1	2	3	1	4	1.8	1.5
入所者数	2	2	5	3	3	1	4	1	1	2	3	2	2.4	1.5
入院者数	3	4	4	3	2	4	4	3	10	29	8	8	6.8	3.8

○稼働率 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
稼働率(%)	74.50	72.22	101.11	109.95	106.99	105.28	103.49	100.28	102.42	109.68	110.12	99.73	99.65	86.63

○介護度別利用者数 (上段：延べ人数 下段：実人員) 単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
要介護1	58	55	65	65	53	58	53	48	55	65	50	48	56	95
	8	9	11	11	9	9	8	8	10	11	8	6	9	15
要介護2	177	161	150	211	189	193	170	156	155	191	189	200	179	123
	17	18	19	22	21	23	20	18	17	19	19	19	19	15
要介護3	109	94	55	39	53	53	62	64	68	49	44	76	64	155
	14	12	9	9	10	9	10	11	10	8	7	11	10	19
要介護4	54	50	44	43	53	35	40	35	34	45	31	10	40	105
	8	6	5	5	6	5	5	6	5	6	3	2	5	11
要介護5	49	43	50	51	48	38	60	57	68	58	56	35	51	48
	6	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	6
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	0	2	1	1
	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0
合計	447	403	364	409	398	379	385	361	381	408	370	371	390	527
	53	49	48	51	50	50	47	48	47	48	41	43	47.9	66.3

(施設実習受入実績)

北星高校介護福祉類型3年生	3名	6月8日～6月29日(16日間)
北星高校介護福祉類型2年生	3名	8月17日～8月30日(10日間)
彦根総合高校介護実習	2名	8月23日～8月25日(3日間)
北星高校介護福祉類型2年生	3名	11月4日～11月17日(10日間)
外国人介護職員初任者研修	2名	1月17日

(委員会活動実績)

委員会名	実施日・内容
衛生委員会	毎月第3水曜日(サービス向上委員会内) 職員の健康障害の防止や健康の保持増進に関して労働環境の改善や労働災害防止の取り組みについての審議・決定
事故防止委員会・身体拘束廃止委員会	毎月第3水曜日(サービス向上委員会内) ヒヤリハットや事故の検討を行い組織的に事故の再発防止や未然に防ぐ取り組みの決定 身体拘束に関する検討、分析、承認
入所検討委員会	毎月第3水曜日(サービス向上委員会内) 入所待機者をガイドラインに則り、入所順位の決定
給食・口腔ケア委員会	毎月第2水曜日 利用者の栄養状態の向上と食事を楽しむ工夫について検討。併せて歯科医師、歯科衛生士の指導のもと口腔ケア計画の策定と安全かつ効果的な口腔ケアの実施のための協議や勉強会の実施

感染対策・褥瘡予防対策委員会	毎月第1金曜日 施設における感染対策防止マニュアルの作成とマニュアル遵守のための研修会の実施。消毒機器の導入等による環境整備と業務改善。利用者の褥瘡予防のための対策の検討および勉強会の実施
ケア委員会	毎月第2月曜日 技術向上、ロボットの活用（タブレット、眠りスキャン、移乗リフト）接遇全般を検討。利用者の安全、安楽な生活を目的に、統一した対応による快適な介助方法を実施。ロボット活用を主導的に行い介護負担の軽減を検討。また業務の見直しやよりよい介助方法を身に付けるための勉強会の実施
排泄委員会	毎月第2木曜日 利用者一人ひとりにあった排泄ケアの実現に向けて排泄パターンの分析を行い、個々の介助方法を見直すとともにオムツの見直しや介助技術の向上を図る研修会を実施
コロナ対策委員会	毎月第1水曜日（臨時開催有） コロナ感染状況の把握やクラスター感染発生時の対応方法など検討。めまじるしく変わるコロナ情報に都度対策を検討する

(2) ケアハウス伊香

①軽費老人ホーム事業

自炊ができない程度の身体機能の低下があり、独立して生活するには不安がある方で、家族等による援助を受けることが困難な入居者に食事や入浴等、日常生活上必要な支援を提供するとともに、感染予防に努めながら、毎月、買い物やレクリエーションの機会等を持ち、地域の中で可能な限り自立した生活を営めるように支援しました。

新型コロナウイルス感染予防のため、外出や面会、ボランティアの受け入れ等、制限がある中で、入居者の生活に楽しみや生きがいを持てるような支援を模索し実施しました。

入居者の平均年齢は84.3歳で、69歳から98歳の男性2名、女性10名の計12名が入所されています。幅広い年齢層の中での集団生活には様々な課題がありますが、必要に応じた相談支援を行うことで、満足度の高い生活環境づくりを進めました。また、他部門と連携をはかり、介護サービスが適切に受けられるように支援体制の強化に努めています。

なお、2人部屋は3部屋ありますが、現在は3部屋とも単身での入居となっており、そのため12名で満室となっております。

また令和3年度より、老人ホーム検索サイト「みんなの介護」への掲載を行い、多くの問い合わせを受けました。

○実績(月末在籍者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	稼働率
入居者数(名)	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	80.0%

○要介護度別利用者数(年度末人数)

	自立	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数(名)	3	0	4	2	3	0	0	0	0	12

4. 福祉ステーション・地域福祉センターの指定管理

(1) 福祉ステーション指定管理

① 指定管理施設一覧

施設名	所在地
長浜東部福祉ステーション	東上坂町 1000
長浜北部福祉ステーション	神照町 288-1
浅井デイサービスセンター	今荘町 859-1
びわ福祉ステーション	難波町 483
湖北福祉ステーション	湖北町速水 1860
高月福祉ステーション	高月町西物部 73-1
木之本福祉ステーション	木之本町千田 53
西浅井福祉ステーション	西浅井町塩津浜 1795

② 高齢者福祉センター事業（東部・北部・高月・木之本）

○外出支援事業（東部・北部）

高齢者等の閉じこもり予防を目的として、地域住民の利用促進を図るため車両の運行で福祉ステーションをより身近な憩いの場所として活用するとともに、買い物支援等を実施することで要援護者等の生活向上を目指しました。また健康増進を図るため、こころやからだの病気、生活習慣改善等についての健康相談を行いました。

	実施回数	参加者数（延べ）
東部高齢者福祉センター	11回	77名
北部高齢者福祉センター	9回	117名

○生きがいづくり講座（東部・北部）

	内容	実施回数	参加者数（延べ）
東部高齢者福祉センター	親子にここに広場	2回	15名
北部高齢者福祉センター	楽しいハンドメイド講座	3回	38名

○生きがいづくり講座の開催とサークル活動支援（高月・木之本）

高齢者等の生きがいづくりを促進するため、各種趣味活動への導入講座を開催し、高齢者の活動的で豊かな余暇活動を支援しました。また、講座参加者が中心となるサークル活動を支援することで地域のつながりを深めました。

	内容	実施回数	参加者数（延べ）
高月高齢者福祉センター	ヨガ教室	8回	116名
	シルバー体操	17回	144名
	フラワーアレンジメント教室	8回	52名
木之本高齢者福祉センター	折り紙 あじさい	16回	116名
	男の料理教室	5回	72名
	絵画教室	18回	93名
	老ク連 卓球クラブ	15回	117名

○福祉講演会の開催

地域住民を対象に福祉課題に対する研修や講演会を開催し、福祉意識の啓発と福祉の担い手の発掘・育成を図りました。また地区社会福祉協議会（福祉の会）やまちづくりセンター事業と連携して開催することで、地域・施設間の連携の強化に努めました。

	内 容	参加者数（延べ）
北部高齢者福祉センター	夢の種まき～大野実先生	88名

○高齢者福祉センター利用状況

地域の福祉事業の拠点として運営を行い各地域福祉事業の展開、地域住民・福祉団体活動に活用いただきました。

■東部高齢者福祉センター

	件数	利用者数
保健事業	1件	43名
交流会	8件	187名
会議	3件	21名
施設貸出	54件	442名
外出支援	11件	77名
施設管理ボランティア	4件	104名
電子浴サービス	1件	1名
その他	3件	43名
合 計	85件	918名

■高月高齢者福祉センター

	件数	利用者数
自主事業	34件	328名
団体利用	758件	4,150名
合 計	792件	4,478名

■湖北福祉ステーション

	件数	利用者数
自主事業	550件	5,359名
団体利用	109件	1,569名
合 計	659件	6,928名

■北部高齢者福祉センター

	件数	利用者数
保健事業	1件	54名
研修・視察・学習会	16件	61名
交流会	44件	315名
会議	126件	747名
施設貸出	3件	186名
外出支援	9件	117名
電子浴サービス	4件	8名
その他	3件	38名
合 計	206件	1,526名

■木之本高齢者福祉センター

	件数	利用者数
自主事業	159件	6,049名
団体利用	269件	2,189名
合 計	428件	8,238名

③地域包括支援センター（北部・高月）

④活動支援型通所サービス事業（北部・高月）

⑤その他介護事業

○通所介護事業（東部・北部・浅井・びわ・湖北・高月・木之本・西浅井）

○訪問介護事業（北部）

○居宅介護支援事業（湖北・西浅井）

（2）長浜市地域福祉センター指定管理

長浜市地域福祉計画及び長浜市地域福祉活動計画の『地域の絆で ともに育み支えあい安心して暮らせるまち 長浜』を基本理念とした本市の地域福祉活動支援拠点の中核施設として運営を行い

ました。

○所在地：長浜市高田町 12-34 さざなみタウンながはま文化福祉プラザ3階

○長浜市地域福祉センター利用状況

内 訳	件 数	利用者数
貸館	327件	2,245名
窓口来所	3,234件	3,521名
合 計	3,561件	5,766名

5. 公益事業

(1) 地域包括支援センターの運営

長浜北部福祉ステーション（神照）、生きがいセンター（虎姫）、高月福祉ステーション（高月）の3カ所で市の委託により地域包括支援センターを運営しました。

地域包括支援センターでは、総合相談支援、介護予防ケアマネジメント業務等を提供することで、身近で専門的な高齢者相談窓口として運営を行なうとともに、生活支援コーディネーター等との連携のもと、地域における住民主体の福祉活動等の把握、住民及び専門職ネットワークの構築に努め、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進しました。

○設置運営場所

- 神照郷里地域包括支援センター 長浜市神照町 288-1 長浜北部福祉ステーション内
- 浅井びわ湖地域包括支援センター 長浜市宮部町 3445 生きがいセンター内
- 湖北高月地域包括支援センター 長浜市高月町西物部 73-1 高月福祉ステーション内

○事業実績

■総合相談支援事業

相談形態	神照郷里	浅井びわ湖	湖北高月	合 計
電話	2,823件	2,135件	1,152件	6,110件
来所	370件	265件	294件	929件
訪問	841件	584件	612件	2,037件
会議	166件	55件	165件	386件
その他	115件	26件	31件	172件
合 計	4,315件	3,065件	2,254件	9,634件

■虐待対応

	神照郷里	浅井びわ湖	湖北高月	合 計
対応件数	42件	19件	19件	80件

■介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

	介護予防支援			介護予防ケアマネジメント			合計		
	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
神照郷里	958件	989件	1,947件	602件	441件	1,043件	1,560件	1,430件	2,990件
浅井びわ湖	926件	749件	1,675件	434件	130件	564件	1,360件	879件	2,239件
湖北高月	500件	693件	1,193件	393件	327件	720件	893件	1,020件	1,913件
合計	2,384件	2,431件	4,815件	1,429件	898件	2,327件	3,813件	3,329件	7,142件

■包括的・継続的ケアマネジメント業務

会議名	神照郷里	浅井びわ湖姫	湖北高月	合計
地域ケア会議	87回	83回	67回	237回
虐待対応会議	118回	54回	65回	237回
認知症施策推進	24回	42回	34回	100回
多機関連携会議	68回	75回	65回	208回
合計	297回	254回	231回	782回

■研修・地域ネットワーク活動

内容	神照郷里	浅井びわ湖姫	湖北高月	合計
研修参加	43回	47回	30回	120回
地域ネットワーク活動	37回	39回	36回	112回

(2) 介護職員初任者研修の開催

在宅サービス事業を幅広く実施し多数の有資格者を有する本会では、そのノウハウを活かし、介護の現場で必要となる基礎的な知識と技術を身につけることができる「介護職員初任者研修」(旧2級ヘルパー養成講座)を実施し、人材の育成・確保に努めました。

また、開催にあたって、本会職員が講師を務めることで、職員のスキルアップを図ることができ、本会サービスの資質向上につながられました。

○開催期間 令和3年5月25日～令和3年9月9日の全23日間(施設実習1日含む)

○開催場所 湖北福祉ステーション

○受講者 10名

(3) 外国人介護職員初任者養成研修の開催 (滋賀県委託事業)

高齢化の進展と人口減少社会の中で多様なルートからの人材確保が必要になっていることから、良質な介護サービスが安定して提供されること、ならびに外国人の方々の雇用の促進を目的として、県内在住の外国人を対象とした「介護職員初任者研修」(旧2級ヘルパー養成講座)を実施しました。

また、開催にあたっては、本会のみならず湖北地域介護サービス事業者協議会等と連携をとり、新たな人材確保に努め、修了者のうち1名を介護事業所への就労につなげられました。

○開催期間 令和3年9月25日～令和4年2月12日の全23日間(施設実習1日含む)

○開催場所 湖北福祉ステーション

○受講者 12名

6. 法人運営等

(1) 理事会の開催

○令和3年5月13日（木）

- 役員等賠償責任保険契約を締結することについて
- 役員を選任に関する規程の一部を改正することについて
- 評議員選任候補者の推薦及び解任に関する規程の一部を改正することについて
- 評議員選任・解任委員の解任および選任について

○令和3年6月14日（月） ※書面決議

- 令和2年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和2年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- 令和2年度 長浜市共同募金委員会収支決算について
- 次期役員選任候補者名簿の提出について
- 評議員会の決議の省略について
- 次期評議員選任候補者の推薦について
- 評議員選任・解任委員会の決議の省略について

○令和3年6月29日（火）

- 会長および副会長の選定について
- 評議員選任・解任委員の選任について
- 評議員選任候補者の推薦について
- 評議員選任・解任委員会の招集について

○令和4年3月17日（木）

- 令和4年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業計画（案）について
- 令和4年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計予算（案）について
- 令和4年度 長浜市共同募金委員会予算（案）について
- 施設の長他の重要な職員の解任及び選任について
- 次期役員候補者名簿の提出について
- 役員等の報酬に関する規程の一部改正について
- 役員等賠償責任保険契約を締結することについて
- 評議員会の招集および招集に必要な事項について

(2) 評議員会の開催

○令和3年6月29日（火）（定時）※書面決議

- 令和2年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和2年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- 令和2年度 長浜市共同募金委員会会計収支決算について
- 理事及び監事の選任について

○令和4年3月28日（月）

- 令和4年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業計画（案）について
- 令和4年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計予算（案）について
- 令和4年度 長浜市共同募金委員会予算（案）について
- 理事の解任および選任について
- 役員等の報酬に関する規程の一部改正について

(3) 監事会の開催

○令和3年5月25日（火）

- 令和2年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和2年度 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- 令和2年度 長浜市共同募金委員会 会計収支決算について

○令和3年12月13日（月）

- 令和3年度（前期分）社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和3年度（前期分）社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

○令和3年6月17日（木） ※書面決議

- 評議員の選任について

○令和3年7月6日（火）

- 評議員の選任について

(5) 法人経営会議の開催

○令和3年7月19日（月）

- 令和2年度決算状況の概要について
- 各課の現状及び業務進捗状況について
- 運営協議会（福祉懇談会）の開催に向けた検討について

○令和3年9月24日（金）

- 高月・木之本福祉ステーションの指定管理申請結果について
- 四半期決算状況の概要について
- 各課の現状及び業務進捗状況について
- 運営協議会（福祉懇談会）の開催に向けた検討について

○令和3年11月5日（金）

- 各課の現状及び業務進捗状況について
- 運営協議会（福祉懇談会）の開催に向けた検討について

○令和4年1月17日（月）

- 令和3年度中間決算の状況について
- 介護事業の運営状況について
- 令和4年度予算編成状況について
- 人事要綱制度の概要について

○令和4年3月9日（水）

- 理事会議案の検討について
- 諸規程の改正等について

7. その他事業

①生活困窮者就労訓練事業

自立相談支援機関（生活困窮者自立支援法に基づき自治体やその委託事業者が運営）のあっせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者を受入れ、その状況に応じた就労の機会を提供するとともに、生活面や健康面での支援を実施しました。

- 受け入れ 2名（延べ78日間）
- 訓練内容 事務補助・施設維持管理業務等

②善意銀行

- 金銭口座 86件 3,255,676円
- 物品口座 73件

食料品	17件	お米、お菓子、カップ麺等
介護用品等	17件	車椅子、歩行器、老人車、紙おむつ等
日常生活用品	32件	衣類、布団、タオル等
その他	7件	テレビ等

③日本赤十字社滋賀県支部長浜市地区事務局の運営

日本赤十字社の活動資金（会費・寄付金等）募集、災害時における救援援助活動、赤十字奉仕団活動の支援等を実施しました。本市でお寄せいただいた会費・寄付金等については、日本赤十字社滋賀県支部をとおして国内外の被災地支援や世界中の災害および紛争、病気などに苦しむ人々を救うための活動資金として活用されます。

区 分	金 額 (円)
会費・寄附金	7,664,522
法人活動資金	690,000
合 計	8,354,522



日本赤十字社公式HP

④長浜市共同募金委員会事務局の運営

赤い羽根共同募金（一般募金）および歳末たすけあい募金を推進するために、事務局を設置し円滑な募金活動に取り組みました。お寄せいただいた募金は、滋賀県共同募金会をとおして長浜市内および滋賀県内の地域福祉の推進、全国の被災地復興支援活動に活用されます。

- 赤い羽根共同募金（一般募金）運動の推進

区 分	募 金 額 (円)
戸別募金	5,999,502
街頭募金	0
法人募金	644,300
学校募金	196,710
職域募金	238,066
その他の募金	208,436
合 計	7,287,014



中央共同募金会公式HP

○歳末たすけあい運動の推進

	募 金 額 (円)
歳末たすけあい募金	4,520,949

⑤社会福祉協議会会費実績

○一般会費：412自治会他 12,110,761 円

○特別会費：189件 806,000 円

注記 事業報告の附属明細書については事業報告と一体的に作成しています。